

## 行政調査報告書「市民文教常任委員会」

平成30年7月9日～11日

### ■岩手県盛岡市『町内会の活動支援について』



国体の開催で市民協働や地域の一体感が生まれたことで、町内会の加入率が88%超と高い。市職員がパイプ役として、町内会からの情報収集をしている。また、各種補助金の申請を一本化し、町内会の負担を軽減する工夫をしている。

本市では役員の担い手不足や会員の減少が課題である。盛岡市の施策を先進事例として、町内会の活性化による市民協働の充実を図る施策展開をする必要がある。

### ■宮城県石巻市『石巻市防災センターについて』

「自分の命は自分で守る」防災意識を日常的に習得できる、先進的な防災センターが今年の3月に完成した。1階と2階の間に免震装置があり、災害対策本部では55インチのモニターで被害状況を確認できる。また、Wi-Fiを使った避難所との情報連携システムや防災無線、防災ラジオなど情報伝達手段の多層化を行っていた。



本市は庁舎内に災害対策本部があるため、消防・自衛隊駐留等の在り方、個人情報漏洩対策や備品の管理体制について検討する必要がある。

### ■東京都文京区『文京区青少年プラザについて』



中高生の自主的な活動や挑戦を支援し、社会との関わりを育む場所であり、放課後の「居場所」となっている。施設内には、談話スペース、バスケットボールコート、スタジオ等があり中高生は無料で利用できる。身近な存在の大学生スタッフと共に中高生自身も施設の広報誌の作成、イベントに携わっている。このよ

うな施設があれば、青少年の健やかな成長に大いに期待が持てる。